

# 討論

会派人数により文字数に違いがあります。

## 住民票等自動交付機廃止に反対

日本共産党(中澤 邦雄 議員)

座間市一般会計予算について、マイナンバーカードを普及させる目的で、住民票等自動交付機を廃止して、マイナンバーカードを使うコンビニ交付にする予算が計上されています。交付にかかわる単価にも問題があり、1枚当たりの経費は予算ベースで、自動交付機が61円50銭、窓口交付は499円ですが、コンビニ交付では2823円かかりま

## 議案第7号、平成30年度座間市一般会計予算に賛意を表す

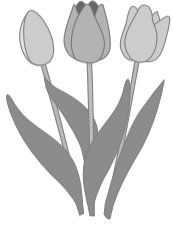
ざま大志会(沖本 浩一 議員)

議案第7号、平成30年度座間市一般会計予算について、予算編成に当たり、第四次座間市総合計画の各施策を具現化した実施計画、事業の実施を根幹に据えながら原点に立ち返り、事業の目的や効果、手法など、さまざまな視点から、その点検及び経費の精査に取り組まれています。こうした市長や当局の政治姿勢と

## 多様な働き方や全ての子育て家庭の支援となる一時預かりの拡大を願う賛成

会派に属さない議員(加藤 陽子 議員)

保育士確保の国の補助金を活用した新規事業に取り組みことを評価します。さらに、保育所入所要件とならない週3日までの働き方に対応し、



## 長年の市民の願いが条例化へ

ざま明進会(佐藤 弥斗 議員)

議案第14号、座間市環境美化条例は、ある中学校のボランティア部が道路清掃で多くのたばこの吸い殻を拾っており、大人のポイ捨てが問題化し、生徒や保護者から条例制定の要望を受け、議員提案による条例制定を目指して、会派で案を提案した経過もあります。また多くの議員が一般質問などで取り上げており、

## 国民健康保険税の値上げに反対

会派に属さない議員(沖永 明久 議員)

本市の国民健康保険被保険者の所得状況からすれば、保険税の値上げ、法定外繰出金の減額は到底容認することはできません。また、こうした

## 小児医療費

### 中学校3年生まで拡充に賛意

公明党(上原 本尚 議員)

議案第7号、平成30年度座間市一般会計予算について、小児医療費助成事業では、国民健康保険事業への繰出金に余裕が増したため、平成30年10月から、これまで小学校卒業までとしていた小児医療費助成の対象年齢が中学校卒業までに拡充されます。公明党としても長年要望してきた事業であり、当局の英断に対して感謝するとともに賛意を表明します。



## バランス良い予算

### 環境美化の推進条例などを評価

自民党(いさま 荻原 健司 議員)

議案第7号、平成30年度座間市一般会計予算では、厳しい財政状況を職員間で共有し、平成29年度決算見込み額を基準に確に予算を計上し、また、学校環境改善交付金を活用し、小・中学校の施設整備事業を前倒しで行うなど、新年度予算に負担を寄せることなく予算編成を行ったことを評価します。また、不用額などの財源を財政調整基金に積み立て、平成29年度末の残高は21億7900万円余となり、また、当初予算後の残高も11億2千万円余と前年度を大きく上回っています。さまざま事業の推進や緊急時の対応等の柔軟性が高まり、安定した行政運営につながるものと高く評価します。

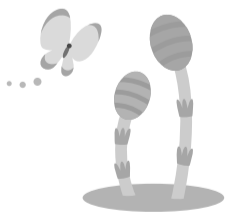
小児医療費助成事業については、「生まれた場所や住んでいるところで格差の生じないよう、国が責任を持って統一的な制度を創設すべきもの」との会派としての見解に変わりはありませんが、中学校3年生までの対象年齢の拡充は自民党・いさまとして強く要望してきたことであり、賛同します。

生活保護関係では、新しく生活保護適正実施推進嘱託員を任用し、不正事案の告訴等

## 求めてきた市民後見養成と学習支援の事業化に賛意

会派に属さない議員(安海 のぞみ 議員)

不正が後を絶たない後見人制度の中で法人後見及び市民後見は大変重要な役割があり、その育成を大いに期待します。学習支援も既存の伴走型支援



4/9 議会運営委員会

10 議会報告会開催委員会

12 関東市議会議長会監事会・正副会長会議・支部長会議・群馬県桐生市

19 神奈川県議会議員視察来訪

23 神奈川県議会議長会定例会・相模原市

24 関東市議会議長会第2回理事会・定期総会・群馬県桐生市

5/11 神奈川県議会議長会新旧正副会長会議・海老名市

